

ラボ・センター紹介

マネジメントデザインセンター (Management Design Center)

担当教員: 当麻哲哉准教授、高野研一教授、中野冠教授、神武直彦准教授、白坂成功准教授、他

目的

マネジメントデザインセンターは、昨年10月に発足したばかりのSDM研究所で最も新しい研究センターです。慶應SDMのコア科目となっている「プロジェクトマネジメント」の考え方をベースとして、企業経営や技術開発、社会、環境、政策等の様々なシステムのマネジメントに関する教育・研究を行う拠点として設立されました。

活動事例

- 設立記念シンポジウム「海外展開プロジェクトへの人材育成」(2012年11月13日)
- 第4回プロジェクト・マネジャー能力強化研修(2012年11～12月、計5日間合宿制)
- PMP®資格受験対策講座(2013年3～4月、計5日間コース)

今後の計画

- 国際シンポジウム“Sustainable Smart Cities” (2013年9月頃)
- “MDS” (マネジメント・デザイン・スクール) ワークショップ(2013年秋、2回開催)
- 第5回プロジェクト・マネジャー能力強化研修(2013年11月)

このセンターを中心として、社会に求められる人材育成のために、今後の慶應SDMのカリキュラムづくり、勉強会、セミナーやシンポジウムなど、多様な活動を企画・実行してまいります。一般の方にもご参加いただける活動も数多く設けてまいりますので、ぜひお気軽にご参加ください。また、センターの活動に対する皆さまのご意見、ご要望等もお待ち申し上げます。



昨年11月に設立記念シンポジウムを開催



(左) PMP®資格受験対策講座で模擬試験を受ける受講生たち (中) プロジェクト・マネジャー能力強化研修での講義と、(右) その研修内でのワークショップの様子

システムデザインメソドロジーラボ (System Design Methodology Laboratory)

担当教員: 白坂成功准教授

システムデザインメソドロジーラボは、適用分野にかかわらず、広くシステムデザインマネジメントにかかわる方法論を研究するラボです。対象を俯瞰的に見て、システムとして捉えるためにシステムエンジニアリングにもとづくシステム思考の方法論や手法を研究する人、デザイン思考に代表されるイノベティブデザインに関する方法論や手法を研究する人及びプログラム・ポートフォリオマネジメントに代表されるマネジメントの方法論や手法を研究する人達が集まっています。

システム思考の方法論では、人工衛星やITシステム、スマートグリッドなどのシステム開発方法論やシステムのアシュアランス方法論など、適用分野によらない研究から、適用分野に固有の開発論まで専門家をまじえておこなわれています。これには、Systems of SystemsやEnterprise Systems Engineeringなど、システムエンジニアリング分野における最新の研究も含まれており、アーキテクチャフレームワークや、メタ思考を活用したメタプロセス研究などもこの

分野に含まれる研究となります。また、イノベティブなデザインをおこなうために“システムxデザイン”思考に基づく方法論や手法などの研究をおこなっており、サービス開発、地域活性化や街づくりなどに広く適用をおこなっています。そして、マネジメントの方法論では、組織のポートフォリオからプログラムのマネジメントを効率的におこなうための方法論の研究など、PMBOKをこえたマネジメントの研究や、知財・技術マネジメントとしての標準化戦略についての研究も含まれています。

方法論、手法の研究の面白さは、自分の考えた方法論や手法が、自分が考えた以上に幅広く適用され、効果をあげることができることにあります。興味がある人はぜひ一度ゼミをのぞいてみてください。

システムデザインメソドロジーラボは、ヒューマンラボと共同で、拡張ヒューマンラボとして、毎週土曜日の午後にゼミをおこなっています。



システムデザインメソドロジーラボとヒューマンラボでの合同ゼミ合宿



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館
Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: sdm@info.keio.ac.jp

SDM
System Design and Management